

障害者基本計画に基づく「重点施策実施5か年計画」の進ちょく状況（平成17年度）について

平成19年3月29日

「障害者基本計画」（平成14年12月24日閣議決定）に基づき、同計画の前期5年間（平成15～19年度）において重点的に実施する施策及びその達成目標等を定めた「重点施策実施5か年計画」の平成17年度末における進ちょく状況が、別添のとおりまとまったので、公表します。

（ポイント）

施策の進ちょく状況については、項目ごとに違いはあるものの、目標を上回る水準で達成されているものもあり、全般的には概ね順調に推移。

（詳細は別添参照）

目標達成の度合いが高い項目のうち、平成17年度の増加率が大きいものは次のとおり。

（1）生活支援における在宅サービスの整備

	（平成16年度）	（平成17年度）	（対前年度伸び率）
ホームヘルパー	86,002人	110,636人	28.6%
障害児通園（児童デイサービス）事業	12,949人分	15,556人分	20.1%
グループホーム	27,956人分	34,085人分	21.9%

（2）生活環境整備における車両のバリアフリー化等

	（平成16年度）	（平成17年度）	（対前年度伸び率）
バリアフリー化鉄軌道車両の割合	27.9%	32.1%	15.1%
ノンステップバスの割合	12.0%	15.0%	25.0%
バリアフリー化航空機の割合	40.7%	47.0%	15.5%
福祉タクシー	7,255台	9,699台	33.7%

在宅サービスが伸びは、平成15年度から支援費制度(注)が施行され、予想を超えて在宅サービスの利用が進んだからであり、車両等のバリアフリー化の進展は、民間事業者による取組が予想以上に進んだため。

(注)福祉サービスを、行政ではなく、利用者が自ら選択、契約し利用する制度